

# 地理歴史科【歴史総合】 評価規準

愛媛県立今治西高等学校 地理歴史・公民科

教科	地理歴史	科目	歴史総合		
単位数	2	学年	1	類型	共通
教科書	歴史総合 近代から現代へ（山川出版社）				
科目目標	<p>社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成する。</p> <p>1 近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界と其中的の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。</p> <p>2 近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。</p> <p>3 近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。</p>				

## 令和6年度 1学期 地理歴史科【歴史総合】 評価規準

単元	歴史の扉 第1部 近代化と私たち 第1章 結びつく世界	
評価時期	1学期 4～5月	
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> <li>資料を利用して、産業発達と人口増加の関連性が近代化の重要な側面であることを理解している。</li> <li>資料から情報を読み取ったりまとめたりしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>資料や図版などから適切に情報を読みとり、時期や立場による書かれ方の違いなどを判断している。</li> <li>近代化に伴う生活や社会の変容について考察し、問いを表現している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>江戸時代の日本の対外貿易を、東アジアだけではなく世界的な観点から再構築しようとしている。</li> <li>ヨーロッパにおける中央集権的な国家体制の成立と海外進出の結びつきを追究しようとしている。</li> </ul>

観 点	評 価 内 容
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第1学期中間考査</li> <li>・週末課題の記述内容</li> </ul>
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第1学期中間考査</li> <li>・リアクションペーパーの記述内容</li> </ul>
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教師による行動観察</li> <li>・リアクションペーパーの記述内容</li> </ul>

単 元	第2章 近代ヨーロッパ・アメリカ世界の成立		
評価時期	1学期 5～7月		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・アメリカ独立革命とフランス革命の原因とその経過について理解している。</li> <li>・中国が欧米列強と結んだ不平等条約の内容とその結果について理解している。</li> <li>・ラクスマンの来航からペリーの来航による開国までの日本をとりまく周辺環境の変化を理解している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アメリカ独立革命が与えた影響を比較し、多面的・多角的に考察し、表現している。</li> <li>・江戸幕府や諸藩における知識・技術の受容と、日本と欧米諸国とのあいだの貿易の特徴を考察している。</li> <li>・太平天国の乱後の中国における改革とその限界について考察している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・二つの革命の歴史的意義を見出そうとしている。</li> <li>・今日の国家につながるイタリアやドイツの統一が、ヨーロッパのパワーバランスにどのような影響を与えたのかを検討しようとしている。</li> <li>・幕末の動乱と欧米諸国との関係について、事件を整理しながら追究しようとしている。</li> </ul>	
観 点	評 価 内 容		
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第1学期期末考査</li> <li>・週末課題の記述内容</li> </ul>		
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第1学期期末考査</li> <li>・リアクションペーパーの記述内容</li> </ul>		
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教師による行動観察</li> <li>・リアクションペーパーの記述内容</li> </ul>		

令和6年度 2学期 地理歴史科【歴史総合】 評価規準

単元	第3章 明治維新と日本の立憲体制 第4章 帝国主義の展開とアジア	
評価時期	第2学期 8～9月	
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> <li>18世紀後半以降の欧米の市民革命や国民統合の動向、日本の明治維新や大日本帝国憲法の制定などを基に、立憲体制と国民国家の形成を理解している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>帝国主義政策の背景、帝国主義政策がアジア・アフリカに与えた影響などに着目して、主題を設定し、アジア諸国とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、帝国主義政策の特徴、列強間の関係の変容などを多面的・多角的に考察し、表現している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>近代化と現代的な諸課題について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。</li> </ul>
観点	評価内容	
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>第2学期中間考査</li> <li>夏季課題の記述内容</li> </ul>	
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>第2学期中間考査</li> <li>リアクションペーパーの記述内容</li> </ul>	
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>夏季課題の記述内容</li> <li>リアクションペーパーの記述内容</li> </ul>	

単元	第2部 国際秩序の変化や大衆化と私たち 第5章 第一次世界大戦と大衆社会	
評価時期	第2学期 9月～10月	
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> <li>第一次世界大戦の展開、日本やアジアの経済成長、ソビエト連邦の成立とアメリカ合衆国の台頭、ナショナリズムの動向と国際連盟の成立などを基に、総力戦と第一次世界大戦後の国際協調体制を理解している。</li> <li>大衆の政治参加と女性の地位向上、大正デモクラシーと政党政治、大量消費社会と大衆文化、教育の普及とマスメディアの発達などを基に、大衆社会の形成と社会運動の広がりを理解している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>国際秩序の変化や大衆化に伴う生活や社会の変容について考察し、問いを表現している。</li> <li>第一次世界大戦前後の社会の変化などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、第一次世界大戦後の社会の変容と社会運動との関連などを多面的・多角的に考察し、表現している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>国際秩序の変化や大衆化について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。</li> </ul>

観 点	評 価 内 容
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第2学期中間考査</li> <li>・週末課題の記述内容</li> </ul>
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第2学期中間考査</li> <li>・リアクションペーパーの記述内容</li> </ul>
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教師による行動観察</li> <li>・リアクションペーパーの記述内容</li> </ul>

単 元	第6章 経済危機と第二次世界大戦 第7章 戦後の国際秩序と日本の改革	
評価時期	第2学期 10月～12月	
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> <li>・世界恐慌、ファシズムの伸張、日本の対外政策などを基に、国際協調体制の動揺を理解している。</li> <li>・第二次世界大戦の展開、国際連合と国際経済体制、冷戦の始まりとアジア諸国の動向、戦後改革と日本国憲法の制定、平和条約と日本の独立の回復などを基に、第二次世界大戦後の国際秩序と日本の国際社会への復帰を理解している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・経済危機の背景と影響、国際秩序や政治体制の変化などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、各国の世界恐慌への対応の特徴、国際協調体制の動揺の要因などを多面的・多角的に考察し、表現している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・経済危機と第二次世界大戦について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。</li> <li>・国際秩序の変化や大衆化と現代的な諸課題について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。</li> </ul>
観 点	評 価 内 容	
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第2学期期末考査</li> <li>・週末課題の記述内容</li> </ul>	
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第2学期期末考査</li> <li>・リアクションペーパーの記述内容</li> </ul>	
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教師による行動観察</li> <li>・リアクションペーパーの記述内容</li> <li>・リフレクションシートの記述内容</li> </ul>	

令和6年度 3学期 地理歴史科【歴史総合】 評価規準

単 元	第3部 グローバル化と私たち 第8章 冷戦と世界経済	
評価時期	第3学期 1月	
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> <li>西ヨーロッパや東南アジアの地域連携、計画経済とその波及、日本の高度経済成長などを基に、世界経済の拡大と経済成長下の日本の社会を理解している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>グローバル化に伴う生活や社会の変容について考察し、問いを表現している。</li> <li>地域紛争の背景や影響、冷戦が各国の政治に及ぼした影響などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、各事象を多面的・多角的に考察し、表現している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>冷戦と世界経済について、より良い社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。</li> </ul>
観 点	評 価 内 容	
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>第3学期学年末考査</li> <li>冬季課題の記述内容</li> </ul>	
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>第3学期学年末考査</li> <li>リアクションペーパーの記述内容</li> </ul>	
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>冬季課題の記述内容</li> <li>リアクションペーパーの記述内容</li> </ul>	

<b>単 元</b>	第9章 グローバル化する世界 第10章 現代の課題	
<b>評価時期</b>	第3学期 2～3月	
<b>知識・技能</b>	<b>思考・判断・表現</b>	<b>主体的に学習に取り組む態度</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>石油危機、アジアの諸地域の経済発展、市場開放と経済の自由化、情報通信技術の発展などを基に、市場経済の変容と課題を理解している。</li> <li>冷戦の終結、民主化の進展、地域統合の拡大と変容、地域紛争の拡散とそれへの対応などを基に、冷戦終結後の国際政治の変容と課題を理解している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>事象の背景や原因、結果や影響などに着目して、日本とその他の国や地域の動向を比較し相互に関連付けたり、現代的な諸課題を展望したりするなどして、主題について多面的・多角的に考察、構想している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>現代的な諸課題の形成と展望について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。</li> </ul>
<b>観 点</b>	<b>評 価 内 容</b>	
<b>知識・技能</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>第3学期学年末考査</li> <li>週末課題の記述内容</li> </ul>	
<b>思考・判断・表現</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>第3学期学年末考査</li> <li>リアクションペーパーの記述内容</li> </ul>	
<b>主体的に学習に取り組む態度</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>教師による行動観察</li> <li>リアクションペーパーの記述内容</li> <li>リフレクションシートの記述内容</li> </ul>	